

平成27年度 HOPE事業研究助成金（個別研究課題）

研究報告書

平成 28年 4月 29日

公益財団法人 がん研究振興財団

理事長 高山 昭三 殿

所属施設 研究開発法人 国立がん研究センター中央病院

住 所 東京都中央区築地5-1-1

氏 名 上野 尚雄



(研究課題)

がん医科歯科連携推進のための支援ツールの開発と普及に関する研究

平成27年 9月 3日付助成金交付のあった標記研究課題について研究が終了致しましたのでご報告いたします。

1) 研究課題名

「がん医科歯科連携推進のための支援ツールの開発と普及に関する研究」

2) 研究事業の目的と概要

がん患者の口腔トラブルは治療中はもとより、治療後は終末期に至るまでの長い期間で高頻度に起憲り、患者を苦しめQOLを低下させる。

このようながん患者の口腔の諸問題への対応として、がん医科歯科連携が重要な役割をはたしており、その認知は少しづつ広がってきてているが、しかし実態として臨床の現場でまだ適切ながん医科歯科連携が行われているとは言いがたく、「どこの歯科医院を受診すれば良いのかわからない、情報がない」と口腔の問題を抱えながら適切な歯科を受診できず苦悩しているがん患者は多い。

この問題を解決するためには、がん病院が地域で口腔ケアを担う質の担保された歯科医院と円滑に連携し、口腔の諸問題で苦しむがん患者が適切な口腔管理を享受できる基盤体制を作ることが急務である。

本研究の目的は、がん医科歯科連携のさらなる推進・円滑化のため、連携の実態や現在の具体的な問題を調査すること、それを解決するための適切なツールを作成し、実際の現場へ普及させるための有効な方法を検討することである。

3) 研究事業の成果

1) 「歯科連携医療機関検索サイト」の作成

インターネット上に連携支援ツール「歯科連携医療機関検索サイト」を作成した。

(<http://hospdb.ganjoho.jp/shikarenkei/>)



・地域で責任を持ってがん治療前からの適切な口腔管理を請け負う、質の担保された「がん連携歯科医院」を検索するWEBサイトを作成し、がん対策情報センターのサーバーに設置した。

・「がん連携歯科医院」は、がん対策情報センターの「医科歯科連携推進専門家パネル」によって作成された「全国共通がん医科歯科連携講習会テキスト」を用いた歯科医師向けの均てん化講習会（厚生労働省の委託事業）を受講し、登録された歯科医院である。

・2016年現在、登録されているがん連携歯科医院は全国すべて網羅されている。その中で情報の一覧公開に同意を得たがん連携歯科医院の件数は1万2千件強であり、その全施設のデータを本サイトに登録した。

・「歯科連携医療機関検索サイト」には、地域の「がん連携歯科医院」が地図上にプロットされており、視覚的に容易に検索できるよう配慮した。

がん連携サービス
gancho.jp

お問い合わせ

がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター 小児がん・発達障害 緩和ケア病棟のある病院 リンパ浮腫外来 二ホモ医療機関

TOP > 歯科連携医療機関検索 > [医療機関名] 歯科

基本情報 地図 2015/11/9 現在の情報

● 診療を受けておられる患者さんの歯科治療までできる施設

ホームページ: 齢別医師名: [医療機関名]

047-0032 TEL: [医療機関名]
北海道小樽市 FAX: [医療機関名]

休日がある週は、木曜日午後も診療を行います。

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00 13:00	9:00 13:00	9:00 13:00	9:00 13:00	9:00 13:00	9:00 12:00	休診
午後	14:00 19:00	14:00 19:00	14:00 19:00	休診	14:00 19:00	12:00 15:00	休診

地図

(C)Yahoo! Japan (C)ZENIN

2) 「歯科連携医療機関検索サイト」普及のための調査、事業

(1) 関連施設での本検索サイトの試験的運用、問題点の抽出

試験的運用に参加頂いた協力施設は以下の8施設である。

- ・がん研究会 有明病院
- ・群馬県立群馬がんセンター
- ・宮城がんセンター
- ・神奈川県立がんセンター
- ・千葉がんセンター
- ・国立がん研究センター中央病院
- ・国立がん研究センター東病院
- ・新潟大学歯学部

運用場所は歯科外来（歯科医師、歯科衛生士）及び、医療連携室、連携支援室（事務職員）であった。

試験的運用により、以下の意見が聴取できた。

- ・検索しやすい
 - 対象の歯科診療施設の色分けで区別されており、視覚的に探しやすい
 - 患者さんの郵便番号や最寄駅から検索が可能
 - 自宅や職場からの位置関係が視覚的にわかる
- ・患者に説明しやすい
 - 地図で案内できる。連携歯科医院の資料をすぐに印刷して渡せる
 - 医院の診療時間など詳細が分かる
 - 駅や幹線道路との関係、自宅との距離が一目で分かることで、交通事情も配慮した選択ができる
- 改善を期待する点として

・がん連携歯科医院は、その受け入れ状況に応じて色分けされて表示されており、患者の状況に合った歯科医院を検索することができるように対応した。

・連携歯科医院は、住所、郵便番号、最寄りの駅名などでの検索ができるようにした。

・地図上の連携歯科アイコンをクリックすると、その医院の詳細がさらに表示される。

詳細ページには、視覚的に把握しやすい地図に加え、住所の詳細、歯科医師名診療時間、休診日、電話番号、FAX番号、ホームページURLなどがわかりやすく表示されるよう作成した。

・検索したサイトの内容はそのまま印刷して、患者さんに資料として直接お渡しできるようにレイアウトされている。

- ・操作に慣れが必要 さらに簡便な操作方法を望む
- ・＊＊市などで検索でき、結果が一覧で見れると良い
- ・地図の横に歯科医院のリストがあると良い
- ・歯科医院名からの検索がしづらい
- ・地域により、連携歯科医の登録数が非常に少ない場合がある
- ・病院歯科を希望される方がいたので、病院歯科を検索しやすくする専用のアイコンがあれば良い
- ・歯科医院の詳細にURLがあるので、クリックでホームページに飛ぶようにしてほしい

試験的運用の結果、本検索サイトは地域連携によるがん患者の口腔管理支援に非常に有用で、使用も簡便な為に非医療職（連携室の事務職員など）も活用できた。検索マップは歯科のない病院施設において円滑な地域連携を推進することに効果的であると思われた。

（2）「がん診療医科歯科連携推進協議会」での情報提示

平成28年2月17日、日本歯科医師会において全国48都道府県の歯科医師会担当者と、各県のがん拠点病院の医師が参集し、がん医科歯科連携の推進について討議を行う「第三回がん診療医科歯科連携推進協議会」が開催された。本協議会の場で「歯科連携医療機関検索サイト」について情報提示を行い、実際の運用に向けての意見聴取を行った。

参加者からは、本研究事業にて作成された「歯科連携医療機関検索サイト」による各地域のがん連携歯科医院の詳細情報の開示は、円滑ながん医科歯科連携の推進に有用であると思われ、なるべく早急に実際の運用を開始して欲しいとの意見を多数受けた。

特にメリットとして、がん連携歯科紹介の円滑化、簡便化だけでなく、医療専門職以外でも紹介が可能（歯科が標榜されていない病院でも連携が容易になる）という点が強調された。情報開示のデメリットとしては、がん連携歯科での混乱が懸念されること（受診患者の急増、適切な診療情報提供書を持参しない患者の問題など）、また地域歯科医師会ががん病院と医療連携を事業として締結する際に、連携歯科の詳細情報がすでに公開されていると、連携締結のメリットが弱まる可能性があることなどが不安視された。

（3）円滑な地域医科歯科連携のためのグループワーク（研修会）の開催

地域の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士を対象に、円滑な地域医科歯科連携を進めるために必要な事項を明確化するためのグループワークを、国立がん研究センターの大会議室で2回に分けて行った。様々な不安を抱えるがん患者に、口腔の諸問題の解決のために負担すくなく地域連携をすすめるための有意義な意見交換が行われた。

4) 今後の展望

がん治療における口腔ケア・医科歯科連携はその重要性の認知は広がりつつあるが、実際の現場での普及はまだ不十分である。実際のがん医科歯科連携の現場で診療に従事する歯科医師、歯科衛生士が具体的にどのような支援を求めているのか、さらに調査を進めてゆきたい。

今後のさらなるがん医科歯科連携の推進には、患者の紹介が多忙な医療従事者の負担にならないよう、支援ツールの開発が不可欠であると考える。今回製作した連携支援ツール「歯科連携医療機関検索サイト」は非常に有用で、円滑な地域連携の推進に効果的であると思われたが、その一方、本ツールの改善すべき点も研究で明らかとなり、今後さらなるブラッシュアップが必要と思われた。

また作成した支援ツールを広く周知し、現場で実際に活用していただくための情報提示や広報活動、普及のためのシステム作りなども並行して行なってゆきたいと考えている。